活用力の向上を目指した
算数科学習指導に関する実証的研究
指導細案

第５学年「面積」

・全１２時間

・使用教科書

「わくわく算数５下」（啓林館）

「わくわく算数５　平成２１年度用補助教材」（啓林館）

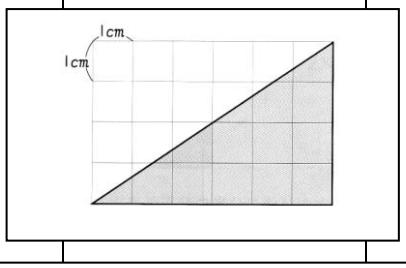
＊資料中の「pほー２５」は，補助教材２５ページを表しています。

●１／１２　　第１次第１時　ｐ２
●本時の目標　　長方形や正方形の面積の求め方をふり返り，本単元の学習課題をとらえる。
●本時の評価　　【関】「面積」の学習内容を知り，意欲的に学習しようとしている。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ	・絵や図を見て，単元の学習内容を把握し，本時の問題をとらえる。	・図を見て，どんな形になっているか発表させる。		既習事項の確認 ・三角形，四角形（２年生） ・正方形，長方形，直角三角形（３年生→２年生） ・平行四辺形（５年生→４年生） ・長方形の面積＝縦×横（４年生） ・正方形の面積＝一辺×一辺（４年生） （旧学習指導要領→新学習指導要領）
	思いうかんだことを，ふきだしにして書いてみましょう。			
	・３ページの㋐～㋕の図形について，分かることを，ふきだしにして書く。 《ふきだし予想》 ・長方形の面積の求め方は習った。 ・正方形の面積は１辺×１辺で求められる。	・作戦・アイデアスペースに，既習事項を想起させながら，思い浮かんだことをふきだしにして自由に書かせ，発表させる。		
	・黒板にいくつかのふきだしを書く。	・自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		
Ⅱ	・長方形や正方形の面積の求め方を書く。	・言葉や式，図などを使って表現させる。		d 実行スペース 言葉や式，図などを使って解き方を書かせる

Ⅲ	・自分の解き方を友だちに説明する。 ・友だちの解き方を聞く。 ・長方形と正方形の面積の求め方を発表させ，確認する。	・自分の考えが相手に伝わるよう意識しながら説明させる。 ・ 発表ボードを使って発表させる。		ペア学習
Ⅳ	・今日の学習の振り返りをする。	・三角形やその他の図形が未解決なことから，「三角形や四角形の面積の求め方を考えていこう」という学習課題をもたせる。	【関】 「面積」の学習内容を知り，意欲的に学習しようとしている。	**e振り返りスペース** 学んだことについて自分の言葉でまとめさせる

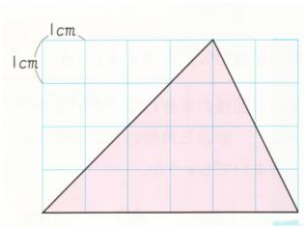
●２／１２　　第１次第２時　　ｐ３，４
●本時の目標　長方形や正方形の求積方法をもとに，直角三角形の面積の求め方を考える。
●本時の評価　【考】既習の求積可能な図形をもとに，直角三角形の面積の求め方を考えることができる。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ	・図を見て，学習内容を把握し，本時の問題をとらえる。	・図の拡大図を提示し，本時の学習内容を把握させる。		既習事項の確認 ・長方形の面積＝縦×横（４年生） ・正方形の面積＝一辺×一辺（４年生）
				
	直角三角形の面積の求め方を考えましょう。			
	・直角三角形の面積の求め方を考え，ふきだしにして書く。 《ふきだし予想》 ・長方形の面積の半分で求められる。 ・直角三角形を切って動かすと長方形になる。 ・黒板にいくつかのふきだしを書く。	・作戦・アイデアスペースに分かったことや見通しなど思い浮かんだことを書かせる。 ？直角三角形の図形を渡す。 ・自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		
Ⅱ	・直角三角形の面積を求める。 《予想》 ・長方形の半分 ４×６÷２＝12 12ｃｍ^2 ・横長の長方形	・言葉や式，図などを使って表現させる。 ！１つの解き方を考えられた子には，別の解き方も考えさせる。	【考】 既習の求積可能な図形をもとに，直角三角形の面積の求め方を考えることができる。	d実行スペース 言葉や式，図などを使って解き方を書かせる

	４÷２＝２ ２×６＝12 12ｃｍ^2 ・縦長の長方形 ６÷２＝３ ３×４＝12 12ｃｍ^2			
Ⅲ	・自分の解き方を友だちに説明する。 ・友だちの解き方を聞く。 ・いろいろな方法で,直角三角形の面積を求めることができることを知る。	・自分の考えが相手に伝わるよう意識しながら説明させる。 ・発表ボードを使って発表させる。		ペア学習
Ⅳ	・直角三角形の面積を求める練習問題をする。 （４ページ②）	・既習事項の求積方法をもとに，直角三角形の面積を求めさせる。		学習内容の確認

? とまどっている子への手だて　! 理解が進んでいる子への手だて

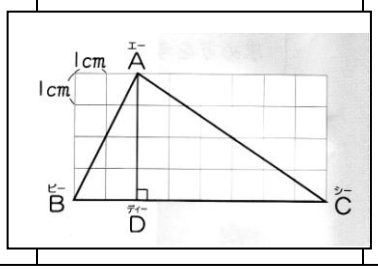
●３／１２　　第１次第３時　　ｐ５
●本時の目標　　一般の三角形の面積の求め方を考える。
●本時の評価　　【考】既習の図形（長方形，直角三角形）の面積に帰着させて一般の三角形の面積の求め方を考えることができる。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ	・図を見て，問題を把握し，本時の学習のめあてを知る。	・　黒板に三角形の図を提示し，本時の学習内容を把握させる。		既習事項の確認 ・長方形の面積＝縦×横（４年生） ・直角三角形の面積（前時）
				
	三角形の面積の求め方を考えましょう。			
	・三角形の面積の求め方を考え，ふきだしにして書く。 《ふきだし予想》 ・２つの直角三角形に分けて求める。 ・三角形を切って動かすと長方形になる。 ・黒板にいくつかのふきだしを書く。	・作戦・アイデアスペースに分かったことや見通しなど思い浮かんだことを書かせる。 ？直角三角形の求め方を想起させ，助言する。 ・自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		
Ⅱ	・三角形の面積を求める。 《予想》 ・直角三角形が２つ ４×４÷２＝８ ４×２÷２＝４ ８＋４＝12 12ｃｍ²	・言葉や式，図などを使って表現させる。 ！１つの解き方を考えられた子には，別の解き方も考えさせる。	【考】 既習の図形（長方形，直角三角形）の面積に帰着させて一般の三角形の面積の求め方を考えることができる。	b作戦・アイデアスペース 思い浮かんだことをふきだしに書かせる

	・長方形の半分 ４×６÷２＝12 12ｃｍ^2 ・横長の長方形 ４÷２＝２ ２×６＝12 12ｃｍ^2 ・縦長の長方形 ６÷２＝３ ３×４＝12 12ｃｍ^2			
Ⅲ	・自分の解き方を友だちに説明する。 ・友だちの解き方を聞く。 ・いろいろな方法で，三角形の面積を求めることができることを知る。	・ペア学習をさせる。 ・自分の考えと比べたり互いの考えを比べたりして，類似点や相違点を見つけさせる。		発表ボードの使用
Ⅳ	・今日の学習の振り返りをする。	・既習事項を使うと，解けることを意識させる。		**e 振り返りスペース** 学んだことについて自分の言葉でまとめさせる。

? とまどっている子への手だて　! 理解が進んでいる子への手だて

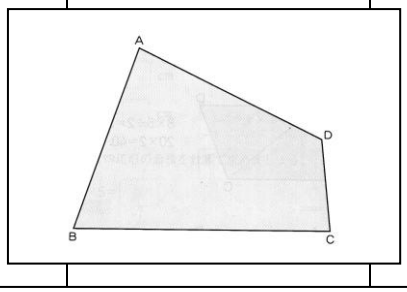
●４／１２　　第１次第４時　　ｐ６
●本時の目標　　三角形の面積を求める公式を考える。
●本時の評価　　【知】三角形の面積の公式を理解できる。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ Ⅱ Ⅲ	・三角形の公式を考える問題をとらえる。	・図を見て問題場面を理解させる。  		既習事項の確認 ・長方形の面積＝縦×横（４年生） ・　一般の三角形の面積は長方形の半分
	三角形の面積を求める公式を考えましょう。			
	・　三角形ＡＢＣのどの部分の長さがわかると求められるかを考え，ふきだしにして書く。 （６ページ④ア） 《ふきだし予想》 ・長方形の半分が三角形の面積だ。 ・長方形の横は辺ＢＣだ。	・　作戦・アイデアスペースに分かったことや見通しなど思い浮かんだことを書かせる。		**b作戦・アイデアスペース** 思い浮かんだことをふきだしに書かせる 発表ボードの使用
	・黒板にいくつかのふきだしを書く。	・　自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		
	・長方形の求積公式を利用して，面積を計算する。 （６ページ④イ）	・　長方形の縦と横の長さが三角形のどの部分にあたるかを考えさせ，辺ＢＣと辺ＡＤの長さが分かるとよいことに気づかせる。		

	・高さ，底辺の用語を知り，三角形の面積の公式をまとめる。 ・三角形の面積の求め方の理解を深める。 ６ページ5 １３ページ1 ア（条件過多）	・長方形の半分になることから，長方形の面積÷２で求められることを確認し，立式させる。 ・底辺と高さの理解の定着をねらい，垂直関係を確認しながら公式にあてはめて計算させる。 ?三角形の求積公式を想起させ，底辺と高さがどこか明確にさせる。	【知】 三角形の面積の公式を理解できる。	
Ⅳ	・今日の学習の振り返りをする。	・既習事項を使って解いたことを意識させる。		**e 振り返りスペース** 学んだことについて自分の言葉でまとめさせる

? とまどっている子への手だて

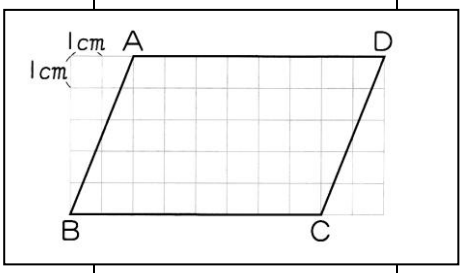
●５／１２　　第１次第５時　　ｐ７
本時の目標　　四角形の面積を，三角形分割の考えを用いて求める。
本時の評価　【表】一般の四角形の面積を，三角形の求積公式を用いて求めることができる。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ	・図を見て，問題を把握し，本時の学習のめあてを知る。	・黒板に四角形の図を提示し，本時の学習内容を把握させる。		情報不足の問題の提示
				
	この図形の面積を求めましょう。			
	・四角形の面積の求め方を考え，ふきだしにして書く。 《ふきだし予想》 ・三角形２つに分けられる。 ・三角形の面積の公式を使ったら解けそうだ。 ・黒板にいくつかのふきだしを書く。	・作戦・アイデアスペースに分かったことや見通しなど思い浮かんだことを書かせる。 ？対角線をひくことで２つの三角形になることを助言する。 ・自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		

Ⅱ	・四角形の面積を求める。 《予想》 ・△ＡＢＤと△ＢＣＤ ９×５÷２＝22.5 ９×３÷２＝13.5 22.5＋13.5＝36 36ｃｍ^2 ・△ＡＢＣと△ＡＣＤ ９×６÷２＝27 ９×２÷２＝９ 27＋９＝36 36ｃｍ^2	・筋道立てて考え，言葉や式，図などを使って表現させる。 ! 1つの解き方を考えられた子には，別の解き方も考えさせる。 ! 上の図の用意をし，必要とした子に渡す。	【表】 一般の四角形の面積を，三角形の求積公式を用いて求めることができる。	d実行スペース 言葉や式，図などを使って解き方を書かせる
Ⅲ	・自分の解き方を友だちに説明する。 ・友だちの解き方を聞く。 ・いろいろな方法で，四角形の面積を求めることができることを知る。	・ペア学習をさせる。 ・発表ボードを使って発表させる。 ・早くて簡単で正確に解ける解き方を見つけさせる。		発表ボードの使用
Ⅳ	・今日の学習の振り返りをする。	・三角形の面積の求め方を学習したことを意識させる。		e 振り返りスペース 学んだことについて自分の言葉でまとめさせる

? とまどっている子への手だて　! 理解が進んでいる子への手だて

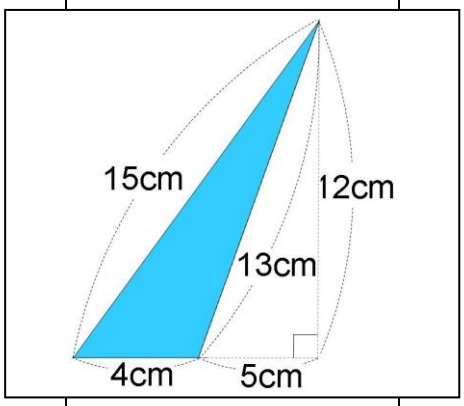
●６／１２　　第２次第１時　　ｐ８，９
●本時の目標　　既習事項を活用して，平行四辺形の面積の求め方を考え，公式を導き出す。
●本時の評価　　【考】三角形や長方形の面積の求め方を基にして，平行四辺形の面積の求め方を考えることができる。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ	・問題を把握し，本時の学習のめあてを知る。	・平行四辺形の拡大図を提示し，本時の学習内容を把握させる。		既習事項の確認 ・長方形の面積＝縦×横 ・三角形の面積＝底辺×高さ÷２
				
	平行四辺形の面積の求め方を考えましょう。			
	・平行四辺形の面積の求め方を考え，ふきだしにして書く。 《ふきだし予想》 ・三角形２つに分けられる。 ・切って動かすと長方形になる。 ・三角形２つと長方形１つに分けられる。	・作戦・アイデアスペースに分かったことや見通しなど思い浮かんだことを書かせる。 ？既習の面積の求め方を想起させ，助言する。		
	・黒板にいくつかのふきだしを書く。	・自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		

Ⅱ	・平行四辺形の面積を求める。 《予想》 ・三角形２つ ８×５÷２＝20 20×２＝40　　40ｃｍ^2 ・長方形 ５×８＝40　　40ｃｍ^2 ・三角形２つと長方形１つ ２×５÷２＝５ ５×２＝10 ５×６＝30 10＋30＝40　　40ｃｍ^2	・筋道立てて考え，言葉や式，図などを使って表現させる。 ! １つの解き方を考えられた子には，別の解き方も考えさせる。	【考】 三角形や長方形の面積の求め方を基にして，平行四辺形の面積の求め方を考えることができる。	d実行スペース 言葉や式，図などを使って解き方を書かせる
Ⅲ	・自分の解き方を友だちに説明する。 ・友だちの解き方を聞く。 ・いろいろな方法で，平行四辺形の面積を求めることができることを知る。 ・平行四辺形の面積を求めるには，どの部分の長さが分かればいいか考える。 ・平行四辺形の面積＝底辺×高さという公式にまとめられることを理解する。	・ ペア学習をさせる。 ・様々な考え方による面積の求め方の理解を深める。 ・平行四辺形の面積を求める方法を振り返り，どの方法でも底辺と高さの長さが分かればよいことに気づかせる。 ・ 図を用いて底辺と高さの関係を丁寧におさえるようにする。		発表ボードの使用
Ⅳ	・平行四辺形の面積を求める練習問題をする。 （９ページ③ア，イ）	・既習事項を使うと，解けることを意識させる。		学習内容の確認

? とまどっている子への手だて　! 理解が進んでいる子への手だて

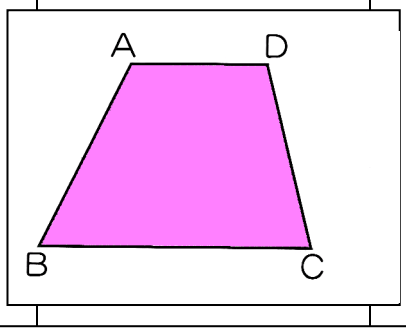
●７／１２　　第３次第１時　　ｐ１０
●本時の目標　　既習事項を想起して，高さが外側にある三角形や平行四辺形の面積を求める。
●本時の評価　　【考】既習事項を想起して，高さが外側にある三角形の面積を求めることができる。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ	・問題を把握し，本時の学習のめあてを知る。	・　三角形の図を提示し，本時の学習内容を把握させる。		情報過多の問題の提示
				
	この三角形の面積を求めてみましょう。			
	・三角形の面積の求め方を考え，ふきだしにして書く。 《ふきだし予想》 ・底辺が４ｃｍだとすると，高さが分かりにくい。 ・大きな直角三角形の面積から小さい直角三角形の面積をひくと求められる。 ・三角形の面積の公式を使って求める。	・作戦・アイデアスペースに分かったことや見通しなど思い浮かんだことを書かせる。 ? 三角形の求積公式を想起させる助言をする。		
	・黒板にいくつかのふきだしを書く。	・自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		

Ⅱ	・三角形の面積を求める。 《予想》 ・底辺４ｃｍ，高さ 12ｃｍの三角形 ４×12÷２＝24 24ｃｍ^2 ・△ＡＢＤ－△ＡＣＤ ９×12÷２＝54 ５×12÷２＝30 54－30＝24 24ｃｍ^2	・筋道立てて考え，言葉や式，図などを使って表現させる。 ! １つの解き方を考えられた子には，別の解き方も考えさせる。 ! 上の図の用意をし，必要とした子に渡す。	考 既習事項を想起して，高さが外側にくる三角形の面積を求めることができる。	d実行スペース 言葉や式，図などを使って解き方を書かせる
Ⅲ	・自分の解き方を友だちに説明する。 ・友だちの解き方を聞く。 ・三角形の高さが外にある場合もあることを知る。	・ペア学習をさせる。 ・三角形の高さが外にある場合もあることを気づかせる。		発表ボードの使用
Ⅳ	・練習問題をする。 （１０ページ②）	・既習事項を使って解いたことを意識させる。		学習内容の確認

? とまどっている子への手だて　! 理解が進んでいる子への手だて

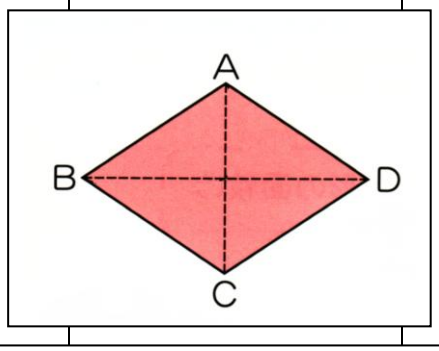
●８／１２　　第３次第２時　　ｐほ－２５
●本時の目標　　台形の面積の求め方を考え，その求積公式を理解する。
●本時の評価　　【知】台形の面積の公式を理解できる。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ	・問題を把握し，本時の学習のめあてを知る。	・台形の図を提示し，本時の学習内容を把握させる。  		既習事項の確認 ・三角形の面積＝底辺×高さ÷２ ・平行四辺形の面積＝底辺×高さ
	台形の面積の求め方を考えましょう。			
	・台形の面積の求め方を考え，ふきだしにして書く。 《ふきだし予想》 ・三角形２つに分けられる。 ・台形を２つ重ねると平行四辺形になる。 ・三角形２つと長方形１つに分けられる。 ・黒板にいくつかのふきだしを書く。	・作戦・アイデアスペースに分かったことや見通しなど思い浮かんだことを書かせる。 ? 台形の図形を渡す。 ・自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		
Ⅱ	・台形の面積を求める。 《予想》 ・△ＡＢＤと△ＢＣＤ ３×４÷２＝６ ６×４÷２＝12 ６＋12＝18 18ｃｍ^2	・筋道立てて考え，言葉や式，図などを使って表現させる。 ! １つの解き方を考えられた子には，別の解き方も考えさせる。		d実行スペース 言葉や式，図などを使って解き方を書かせる

	・平行四辺形 （３＋６）×４÷２＝18 18ｃｍ^2 ・三角形２つと長方形１つ ２×４÷２＝４ １×４÷２＝２ ４×３＝12 ４＋２＋12＝18 18ｃｍ^2			
Ⅲ	・自分の解き方を友だちに説明する。 ・友だちの解き方を聞く。 ・いろいろな方法で，台形の面積を求めることができることを知る。 ・台形の上底，下底，高さを理解する。 ・台形の面積＝（上底＋下底）×高さ÷２という公式にまとめられることを理解する。	・自分の考えが相手に伝わるよう意識しながら説明させる。 ・様々な考え方による面積の求め方の理解を深める。 ・台形の面積を求める方法を振り返り，どの方法でも上底と下底と高さが分かればよいことに気づかせる。	【知】 台形の面積の公式を理解できる。	ペア学習
Ⅳ	・台形の面積を求める練習問題をする。 （ほー２５ページ②）	・既習事項の求積方法をもとに，台形の面積を求めさせる。		学習内容の確認

? とまどっている子への手だて　! 理解が進んでいる子への手だて

●９／１２　　第３次３時　　ｐほ－２６
●本時の目標　　ひし形の面積の求め方を考え，面積を求める公式を理解する。
●本時の評価　　【知】ひし形の面積の公式を理解できる。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ	・問題を把握し，本時の学習のめあてを知る。	・ひし形の拡大図を提示し，本時の学習内容を把握させる。		既習事項の確認 ・長方形の面積＝縦×横 ・三角形の面積＝底辺×高さ÷２
				
	ひし形の面積の求め方を考えましょう。			
	・ひし形の面積の求め方を考え，ふきだしにして書く。 《ふきだし予想》 ・直角三角形が４つある。 ・三角形２つに分けられる。 ・長方形の半分になっている。 ・黒板にいくつかのふきだしを書く。	・作戦・アイデアスペースに分かったことや見通しなど思い浮かんだことを書かせる。 ?既習の面積の求め方を想起させ，助言する。 ・自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		
Ⅱ	・ひし形の面積を求める。 《予想》 ・直角三角形４つ ６×４÷２＝12 12×４＝48 48ｃｍ^2 ・△ＡＢＤと△ＢＣＤ 12×４÷２＝24	・筋道立てて考え，言葉や式，図などを使って表現させる。 !１つの解き方を考えられた子には，別の解き方も考えさせる。		d実行スペース 言葉や式，図などを使って解き方を書かせる

	24×２＝48 48ｃｍ^2 ・長方形の半分 ８×12÷２＝48 48ｃｍ^2			
Ⅲ	・自分の解き方を友だちに説明する。 ・友だちの解き方を聞く。 ・いろいろな方法で，ひし形の面積を求めることができることを知る。 ・ひし形の面積を求めるには，どの部分の長さが分かればいいか考える。 ・ひし形の面積＝対角線×対角線÷２という公式にまとめられることを理解する。	・相手を意識し，図や式などの説明をしているかどうかの視点を持たせ,聞かせる。 ・様々な考え方による面積の求め方の理解を深める。 ・ひし形の面積を求める方法を振り返り,どの方法でも対角線の長さが分かればよいことに気づかせる。	【知】 ひし形の面積の公式を理解できる。	ペア学習
Ⅳ	・　ひし形の面積を求める練習問題をする。 （ほー２６ページ②）	・既習事項の求積方法をもとに，ひし形の面積を求めさせる。		学習内容の確認

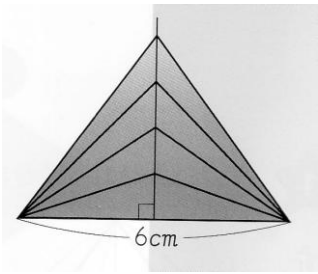
? とまどっている子への手だて　! 理解が進んでいる子への手だて

●１０／１２　　第３次第４時　　ｐ１３
●本時の目標　　学習内容の理解を確認する。
●本時の評価　　【知】基本的な学習内容について理解している。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ	・練習問題をする。 １３ページ ① イ ② ア，イ ③ ア，イ ④ ・変形マシーンづくりをする。 ・学習の振り返りをする。	? 教科書を振り返ったり，ワークシートを見直したりして，求め方を確かめさせる。	【知】 基本的な学習内容について理解している。	e 振り返りスペース 学んだことについて自分の言葉でまとめさせる

? とまどっている子への手だて

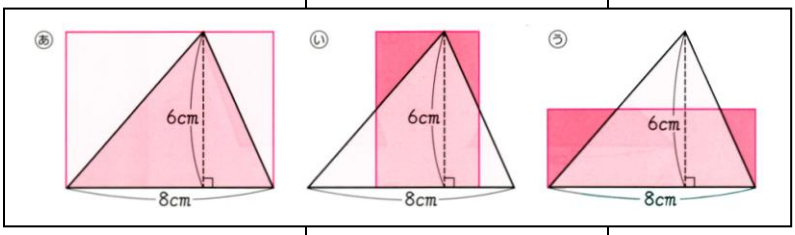
●１１／１２　　第４次第１時　　ｐ１４
●本時の目標　　三角形の高さや底辺と面積の関係を考える。
●本時の評価　　【考】三角形の高さや底辺と面積の関係を考えることができる。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ	・問題を把握し，本時の学習のめあてを知る。	・三角形の拡大図（ジオボード）を提示し，本時の学習内容を把握させる。		具体物の提示
				
	高さを変えて三角形の面積の変わり方を調べましょう。			
	・　図を見て高さが変わると，面積がどのように変わるか考え，ふきだしにして書く。 《ふきだし予想》 ・高さが増えると，三角形の面積も増えている。 ・三角形の面積を求める公式を使うといい。	・　作戦・アイデアスペースに分かったことや見通しなど思い浮かんだことを書かせる。		
	・　黒板にいくつかのふきだしを書く。	・自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		
Ⅱ	・表を完成させ，どのように変化しているか考える。 （１４ページ①ア）	・　筋道立てて考え，言葉や式，図，表などを使って表現させる。 ? 三角形の求積公式を想起させ，計算方法を助言する。 ! １つのきまりを考	【考】 三角形の高さや底辺と面積の関係を考えることができる。	d実行スペース 言葉や式，図などを使って解き方を書かせる

		えられた子には，別のきまりも考えさせる。		
Ⅲ	・自分の解き方や自分が見つけたきまりを友だちに説明する。 ・友だちの解き方や友だちが見つけたきまりを聞く。 ・表から見つけた様々なきまりを知る。 ・ 表にまとめた様子から，ともなって変わる数量の規則性に気づく。 （１４ページ①イ） ・三角形の求積公式を思い出して，高さを△，面積を○としたときの式を考える。 （１４ページ①ウ） ・△が１２のときの○を求める。 （１４ページ①エ）	・ ペア学習をさせる。 ・ 高さが２倍，３倍になると，面積も２倍，３倍となることに気づかせ，そのわけを図を見て考えさせる。 ・ 三角形の求積の公式と表を作ったときにどんな計算をしたか具体的な数値と対応させて考えさせる。 ・単に代入して求めるだけでなく，この関係式を使うと，表の続きが求められることにも気づかせる。		発表ボードの使用
Ⅳ	・ 底辺を変えたとき，三角形の面積はどのように変化するか表を作って考える練習問題をする。 （１４ページ②）	・底辺の場合も同じになることを類推させ，解かせる。		学習内容の確認

? とまどっている子への手だて　! 理解が進んでいる子への手だて

●１２／１２　　第４次第２時　　ｐ１５
●本時の目標　　面積の公式をもとにした式のよみ方を考える。
●本時の評価　　【考】面積を求める式の形に着目し，式を表す意味をよみとることができる。

過程	学　習　活　動	指導上の留意点	評　価	活用力向上に係る具体的な手立て
Ⅰ	・３人の式と三角形の図を見て，三角形の求積の仕方を式から読みとる問題であることをつかむ。  	・三角形の求積をした授業を振り返り，多様な求め方があったことを想起させる。		既習事項の確認 ・三角形の面積＝底辺×高さ÷２
	式の意味を考えましょう。			
	・　式，図の表す意味を考え，ふきだしにして書く。 《ふきだし予想》 ・式の（　）の位置が違う。 ・あの図は，長方形の半分で，三角形の面積を求めている。 ・いの図は，三角形を動かして，縦長の長方形にして求めている。	・作戦・アイデアスペースに分かったことや見通しなど思い浮かんだことを書かせる。		
	・　黒板にいくつかのふきだしを書く。	・自分の取り入れたい考えは，色を変えて記入させる。		

Ⅱ	・式と図を結びつけ，その理由を考える。	・筋道立てて考え，言葉や式，図などを使って説明させる。 ?方眼入りの図を渡す。	【考】 面積を求める式の形に着目し，式を表す意味をよみとることができる。	**d実行スペース** 言葉や式，図などを使って解き方を書かせる
Ⅲ	・自分の式の読みとりを説明する。 ・友だちの式の読みとりを聞く。 ・式の形から，いろいろな求積の仕方が読みとれることをまとめる。	・相手に自分の考えが伝わるよう意識しながら説明させる。 ・発表ボードを用いる。		ペア学習
Ⅳ	・練習問題をする。 （１５ページ④） ・学習の振り返りをする。	・既習事項の求積方法をもとに，式の意味を読み取らせる。		**e 振り返りスペース** 学んだことについて自分の言葉でまとめさせる

? とまどっている子への手だて